

3

開放的で明るいみんなの広場

学校施設は生徒が毎日長時間過ごす場であり、学習センターやラウンジなど多様な居場所を確保することが、学校生活を充実させるうえで効果的です。

特に単位制の学校などで空き時間が発生する可能性がある場合は、このことが重要になります。

学習センターとして



図書館に隣接する「メディアラウンジ」。高窓から日光が差し込み、季節や時間の変化を感じられる。(下北沢成徳高等学校)



「メディアセンター」の吹き抜け空間にテーブルを配置した例。屋外の緑が眺められ、落ち着いた雰囲気になっている。(八千代松陰高等学校)

教科のメディアスペースとして



壁(全面ホワイトボード)、机・椅子などを白で統一した、職員室に隣接するラウンジ。情報端末も設置し、利用頻度を高めるようにしている。(奈良学園中学校・高等学校)

ラウンジとして



単位制、総合学科高等学校の校舎に設けられたラウンジ。内装に木材を多用し、快適性を高めている。(横須賀市立横須賀総合高等学校)



クラスルームの前面廊下にテーブルを置いた例。教室の配置を雁行させてこのスペースを生み出している。(野田学園中学校・高等学校)



中庭を囲む「回廊」。一部に語らいのための椅子が置かれ、壁にはスタンドグラスがはめ込まれるなど、居心地の良い空間にしつらえられている。(女子聖学院中学校・高等学校)



通常時は生徒ラウンジとして使われる「アトリウム」。イベント開催時には、テーブルと椅子が片付けられる。(東京都立大江戸高等学校)



こぢんまりとした居心地の良い談話コーナー。学校生活の写真を展示することで話題を提供している。(郁文館夢学園)